

平成30年度 第2回新宿区産業振興会議 議事要旨

- 【日 時】 平成30年12月27日（木）午後3時～5時
- 【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 研修室C
- 【出席者】 委員：植田、遠山、長山、松尾、堀米、前田、武山、青木、富田、橋本各委員
事務局：村上文化観光産業部長、村上産業振興課長、黒澤産業振興係長、桑野主査
- 【欠席者】 益田委員、太田委員、友成委員
- 【傍聴者】 1名
- 【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議事

- (1) 前回会議の振り返り
- (2) 専門部会「経営者・後継者・商店会」報告
- (3) 専門部会「創業者・従業員」報告
資料1、資料2および資料5に基づき、事務局より説明した。
資料3、資料4に基づき、両専門部会長より説明した。

3 主な発言内容

◎専門部会「経営者・後継者・商店会」について

- 事業承継段階に応じた支援施策を整理していくことが必要。
- 相続、技の伝承、事業の伝承、M&A等、切り分けて検討が必要。
- 新宿区ですべてを支援することは難しいため、他の支援機関に案内できるようにすべき。

◎専門部会「創業者・従業員」について

- 創業に無関心な人たちに関心を持ってもらえるような、地域住民を含めた、創業への機運醸成に向けた方向性について検討してはどうか。
- そのためには、大学や信用金庫等を含めた支援体制を可視化していく必要がある。
- 創業段階に応じた支援施策を整理していくことが必要。
- ビジネスプランコンテストについては、新宿らしさや新宿発の起業家発掘を目的とする方向性について検討してはどうか。
- 高田馬場創業支援センターについては、様々な起業家の発掘のため、裾野を広げるとともに位置づけを検討すべき。周知方法や広報のあり方についても検討が必要。
- 新宿区では、他の自治体や支援機関が行っている従業員教育メニューを紹介していくのはどうか。
- 高田馬場創業支援センターで、従業員教育のためのセミナーやワークショップを開催してはどうか。

○今後の進め方について

- 創業者や事業承継の段階に応じた支援施策の整理を行っていく。
- 産業振興会議第4期報告書を見据え、両専門部会でこれまでの議論を整理していく。

5 次回日程について（予定）

- (1) 専門部会1-③（経営者・後継者・商店会）

日 時：平成31年1月

会 場：B I Z新宿

(2) 専門部会2-③（創業者・従業員）

日 時：平成31年1月

会 場：B I Z新宿

(3) 産業振興会議

日 時：平成31年3月上旬

会 場：B I Z新宿

6 閉 会